

作品募集

●川とのふれあい写真コンテスト
川は私たちの生活にとって、かけがえのないものです。信濃川下流工事事務所では、皆さんに川を愛し親しんでもらえるよう、川の美しさ、優しさ、楽しさ、たいせつさなど、さまざまな川とのふれあいの写真を募集しています。

●募集作品 川とのふれあいをテーマにしたもの。白黒、カラープリント(スライド、組写真を除く)で、サービスタリオン四つ切り以内。1人3点以内。□申し込み 9月10日までに、信濃川下流工事事務所総務課・川とのふれあい写真コンテスト係(〒951 新潟市文京町14-13・☎266-7131)へ。詳しい応募規定と、申し込みに必要な応募票は、同事務所か、市役所企画調整課広報広聴係(☎295)に請求してください。

●県勤労者美術展
県と新潟市、県労政協会が、勤労者の創作意欲を高め、美術を通じて明るい職場づくりを図ることを目的に実施するもので、9月26日から29日まで県美術館で開催されます。

勤労者の皆さん、奮って作品を応募してください。

□受付期間 9月14日～18日
□部門 ①日本画(50号以内) ②洋画(版画を含む。50号以内) ③彫塑 ④工芸 ⑤書道(縦額は全紙1/3以内、横額は全紙以内)

⑥写真(四つ切り以上全紙以内) □問い合わせ 詳しくは新潟労働事務所(☎231-8171)へ。

●全国発明くふうコンクール
(社)発明協会とNHKでは、日常生活から産業技術に至るまで、創意に満ちた新しい発明くふう・デザインを募集しています。

●募集作品 独創性に富む発明・考案、意匠で、実施化されていないもの。□応募資格 発明者、考案者、創作者に限ります。□問い合わせ 詳しくは発明協会新潟支部(新潟県工業技術センター内・☎247-1301)へお尋ねください。

●募集要項と申込書は市役所商工観光課商工振興係(☎217)にも用意してあります。

「案内」します

●県立新潟高等職業訓練校63年度訓練生(普通課程)の募集
□応募資格 高校を卒業した人(見込みを含む)またはこれと同等以上の学力を有する人で、原則として30歳以下の人。□募集訓練科 電子機器科20人、電気施設科30人、自動車整備科25人、測量科30人。計105人。□訓練期間 63年4月から1年間(自動車整備科は2年間)。□受付期間 9月1日～30日。□選考日・会場 10月12日(用)新潟高等職業訓練校。□選考方法 学科試験(国語I、数学I)、面接。□問い合わせ 詳しくは同訓練校(〒950 新潟市鏡西1-11-1・☎247-7361)へ。

●1、2級技能士課程通信講座
新潟技能開発センターでは、生産現場で働く人の技能向上のため、職業能力開発促進法に基づき、2級技能士課程の通信講座を実施しています。この講座の修了者は、受講した職種(1、2級技能検定)の学科試験が免除されます。

□受講職種 1級(6職種) 機械加工科、仕上げ科、配管科、機械製図科、建築大工科、板金科、2級(25職種) 機械加工科、仕上げ科、鋳鉄鋳物科、板金科、製かん科、金属塗装科、建築科ほか。□受講期間 標準1年。□受講料 1級8000円、2級6000円(教科書、指導書、添削指導、面接指導)。□問い合わせ 新潟技能開発センター開発援助課(長岡市・☎0258-37-0450)。

●労働通徳教育講座
雇用とは何か、労使関係とは何かなど、働くことに伴う諸問題を体系的に学ぶ総合労働問題講座。

□研修期間 9月20日～63年3月末日。□内容 基本コース 労使関係、労働組合、労務管理、社会保障など。専門(労働法)コース 労働契約、就業規則、団体交渉、不当労働行為など。専門(労務管理)コース 雇用管理、賃金・退職金・年金、能力開発、企業・労働福祉など。□受講料 各コースとも9800円。□募集締切日 8月20日。□問い合わせ 県商工労働部労政課(☎265-5511)。(2813)

商工業者の皆さんご利用ください



市内の中小企業者の皆さんのお役に立てるよう、市では低利な融資制度を用意しています。安い利率で手続きの簡単なこの融資制度を、どうぞご利用ください。

お問い合わせは、商工観光課商工振興係(☎217)へ。

制度名	白根市中小企業設備近代化資金	地方産業育成資金
融資対象	市内に3年以上事業を営むもので、資本金が3,000万円以下の法人、または常時使用する従業員が50人を超えない個人、事業協同組合等の組合	市内に住所または営業所を有するもので、現に商工業を営んでいるもの
貸付限度	1,000万円(対象設備費の80%以内) 組合5,000万円()	400万円
使 途	設 備 資 金	運 転 資 金・設 備 資 金
貸付期間 返済方法	7年以内(据え置き6か月以内) 組合 10年以内(据え置き1年以内)	3年以内
利 率	年5.50%(うち年1.0%以内を、また、組合で公共性があると認められる場合は2.0%以内を、市で利子補給します)	年5.15%(信用保証付きは年4.65%)

融 資

●県中小企業設備リース助成事業
(財)県中小企業振興公社では、生産設備などをリースにより導入しやすとする中小企業者に対して、毎月支払うリース料の一部を助成しています。

□助成対象 製造業で従業員数が21人以上の中小企業者。設備は定められたメカトロ設備、検査設備その他で、1件当たりの価格が200万円(検査設備は100万円)以上、合計額は1億円以内。リース期間は3年以上10年以内のもの。

□指定リース会社 第四リース(株)、北越リース(株) □問い合わせ 助成額など詳しいことは、(財)県中小企業振興公社(☎285-0025)へお尋ねください。

●環境衛生金融公庫融資
公庫では、国民の生活と関係の深い飲食、理容、美容、旅館、クリーニングなどの環境衛生関係営業の人々にお店の新・増・改築や器具・備品の購入などに必要な設備資金、営業の振興・経営の安定化に役立つ運転資金を、長期・低利で融資しています。

融資条件など詳しいことは、環境衛生金融公庫(☎03-582-5416)へお問い合わせください。

善意をありがとう

▽茨曾根小学校へ 中島政五郎さん(庚) 鼓笛隊用中太鼓とバンド

●市テニス選手権ダブルス
(5月31日・青年教育センター)
▽男子 ①川又誠一・渡辺栄(フレンドリー) ②小野正志・真保和広(同) ③吉川淳・小島芳弘(新大) ④女子 ①高桑由美・渡辺祐美子(フレンドリー)

スポーツ大会結果

「サマージャンボ宝くじ」予約申し込み受付中

この宝くじの収益金は、全国の市区町村の災害対策と、明るく住みよい街づくりなどに使われます。

賞金は1等5000万円、前後賞合わせて8000万円、さらに高級外車も買えるデラックス・カー賞(800万円)、お好きな車が買えるファミリー・カー賞(300万円)の特賞も用意されています。

□予約申し込み期間 7月15日～24日(当日消印有効) □予約申し込み方法 ①全国の宝くじ売場で「予約券」交付中 ②官製往復はがきで、往復はがきの表面に申し込み先(〒100 東京中央郵便局留置 第一勧業銀行宝くじ部)

と本人の郵便番号、住所、氏名を記入し、横に「宝くじ」と赤色で書いて四角で囲む。裏面には「サマージャンボ」とだけ記入。返信はがきの表面には本人の郵便番号、住所、氏名を記入して申し込んでください。「予約券」「はがき」1枚で20枚まで予約できます。

ご利用ください 市立図書館 (☎373-2810)

【開館時間】
▶月・水・木・土曜日...10時～17時
▶火・金曜日...10時～20時
▶日曜日...9時～17時
※祝日と年末年始は休館
【貸し出し】
1人2冊以内で1週間

●今月の受入図書

▷文学 愛と別れ(瀬戸内晴美) 異端の英雄上・下(生島治郎) 別れぬ理由(渡辺淳一) 暗い血の旋舞(松本清張) ちいろば先生物語(三浦綾子) 少数派(石沢英太郎) 手榴弾を持つ少年(夏城正元) 雪舞(芝木好子) 失踪宣言(和久峻三) 男の極泉(山口洋子) 梶子の花(山口暁) 嵐の蝶(西村寿行) 海の稜線(黒川博行) 世の終わりのための五重奏(山口泉) 銀座八邦亭(森田誠吾) 惑星の泉(丸山健二) 天地の夢(立松和平) 火まつり(中上健次) カウディの夏(五木寛之) 絆(小杉健治) エディプスの市(笠井潔) 望我の記(中里恒子) 懇切な遺書(夏樹静子) ハードラック・ウーマン(栗本薫) ちよと女は混線電話(青木雨彦) みんな寂しいのだから笑って(清川虹子) セピア色の写真(諸井薫) 下駄の音(随筆集) (三浦哲郎) 東京プチプチ日記(東海林さだお)

▷歴史 古代出雲・荒神谷の謎に挑む(松本清張) 奥陸伊達一族(高橋富雄)

▷社会科学 国家試験のすべて(資格問題研究会編) 資格試験のすべて(同)

▷自然工学 世界の天然記念物(小原秀雄編)

▷芸術 古美術読本(芝木好子編)

▷産業 郵便博物館(山口修監修) ほか多数

●自費出版物について(お願い)
図書館では 市民の皆さんが自費で出版された図書や雑誌の収集に努めています。
あなたが、あるいは友人が作った本などがありましたらぜひお知らせください。貴重な資料として保存し、広く市民の皆さんに紹介し、利用していただきます。ご協力をお願いします。

歯の用心一ロメモ 入れ歯の話



「使い捨て時代」が去って節約が叫ばれるこのごろですが、どうも私たち日本人は、物質に対する執着や関心ばかりが強く、心身の健康など目に見えないものには希薄な面があるようです。歯の健康も同様で「悪くなったら抜いてしまえばいい」という考えをお持ちの人はいませんか。この背後には「入れ歯にすればいい」といった考え方があのように思われます。

自分の歯で一生を過ごせたらいいですね。しかし残念ながら、たいせつな歯が失われ

「使い捨て時代」が去って節約が叫ばれるこのごろですが、どうも私たち日本人は、物質に対する執着や関心ばかりが強く、心身の健康など目に見えないものには希薄な面があるようです。歯の健康も同様で「悪くなったら抜いてしまえばいい」という考えをお持ちの人はいませんか。この背後には「入れ歯にすればいい」といった考え方があのように思われます。

自分の歯で一生を過ごせたらいいですね。しかし残念ながら、たいせつな歯が失われ

「使い捨て時代」が去って節約が叫ばれるこのごろですが、どうも私たち日本人は、物質に対する執着や関心ばかりが強く、心身の健康など目に見えないものには希薄な面があるようです。歯の健康も同様で「悪くなったら抜いてしまえばいい」という考えをお持ちの人はいませんか。この背後には「入れ歯にすればいい」といった考え方があのように思われます。

自分の歯で一生を過ごせたらいいですね。しかし残念ながら、たいせつな歯が失われ

新潟県歯科医師会

ていきます。不幸にして歯が抜けた場合、一本抜けたくらいでは物をかむのに差し支えがないからと、そのままにしておくのはたいへん危険です。奥歯が一本抜けるとかむ力が約50%も低くなってしまふことをご存じですか。また、歯を抜いたままにしておくと、隣の歯が動いて傾いてきます。そして一年もすると、歯と歯の間にすきまが出来る、そこに食べカスがたまって新しい虫歯や歯槽膿漏に苦しむ結果となります。

したがって、抜けた歯のあとには反対の歯が伸びたり動いたりしないよう、入れ歯をしなればなりません。このように入れた歯を入れるのは「よくかむため」「残った歯を守るため」「健康で若々しい顔をつくるため」という三つの目的があるのです。

訂正とおわび...本紙7月1日号・3ページの「斉藤イミさん」は、斉藤ユミさんの誤りでした。訂正しておわびいたします。